

観光創造専攻

平成28年度
前期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1,000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配付されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1,600～2,000字の日本語（横書き）で解答しなさい。
なお、適当な位置で改行して段落に分けること。また字数は改行による空白を含めて計算する。

インターネットをはじめとする ICT (Information and Communications Technology) は、観光においても多様な形で活発に活用されるようになってきており、今後もますますその重要性を高めていくものと考えられる。その一方で、こうした観光における ICT の活用が抱える問題点や解決すべき課題についても、様々に指摘がなされるようになってきた。

そこで、観光分野において ICT を活用する際に留意すべき問題点を指摘したうえで、その問題の解決のためにはどのような方策が必要か、あなた自身の考えを論理的に説明しなさい。